

薬学専攻（博士課程）カリキュラム

| 医療薬学コース | | | | 臨床薬学コース | | | | |
|---------------------|-------------------------------------|--------|--------|------------|-------------------------|--------|--------|----------|
| 科目 区分 | 授業科目 | 単位数 | | | 授業科目 | 単位数 | | |
| | | 講 義 | 演 習 | 実験 実習 | | 講 義 | 演 習 | 実験 実習 |
| 必修 科目 | 先端医療薬学特論 | 2 | | | 先端臨床薬学特論 1 | 2 | | |
| | 薬学セミナー | 4 | | | 先端臨床薬学特論 2 | 2 | | |
| | 医療薬学演習 | | 6 | | 臨床薬学演習 | | 6 | |
| | 医療薬学特別実験 | | | 12 | 臨床薬学実習 | | | 4 |
| | 医療薬学特別演習 | | 4 | | 臨床薬学特別実験 | | | 12 |
| | 臨床薬学特別演習 | | | | | 4 | | |
| 選択 科目 | 糖鎖生化学特論 | 1 | | | | | | |
| | 薬物代謝・毒性学特論 | 1 | | | | | | |
| | 分子薬理学特論 | 1 | | | | | | |
| | 薬物送達学特論 | 1 | | | | | | |
| | 病態分子分析学特論 | 1 | | | | | | |
| | 薬物動態学特論 II | 1 | | | | | | |
| | 薬物放出制御学特論 | 1 | | | | | | |
| | 神経内分泌機能解析学特論 | 1 | | | | | | |
| | 免疫微生物学特論 II | 1 | | | | | | |
| | 創薬探索学特論 II | 1 | | | | | | |
| 生薬漢方薬学特論 | 1 | | | | | | | |
| 自由 選択 科目 | 健康長寿科学特論 I | 1 | | | 健康長寿科学特論 I | 1 | | |
| | 食品科学特論 II | 2 | | | 食品科学特論 II | 2 | | |
| | 栄養科学特論 II | 2 | | | 栄養科学特論 II | 2 | | |
| | 人類遺伝学特論 II | 1 | | | 人類遺伝学特論 II | 1 | | |
| | 遺伝学特論 II | 1 | | | 遺伝学特論 II | 1 | | |
| | 科学英語:オーラル・コミュニケーション I | | 1 | | 科学英語:オーラル・コミュニケーション I | | 1 | |
| | 科学英語:オーラル・コミュニケーション II | | 1 | | 科学英語:オーラル・コミュニケーション II | | 1 | |
| | 科学英語:インテ`ペンデ`ント・リスニング` | | 1 | | 科学英語:インテ`ペンデ`ント・リスニング` | | 1 | |
| | 科学英語:アカデ`ミック・プレゼ`ンテーション | | 1 | | 科学英語:アカデ`ミック・プレゼ`ンテーション | | 1 | |
| | 科学英語:アカデ`ミック・ライティング` | | 1 | | 科学英語:アカデ`ミック・ライティング` | | 1 | |
| | 科学英語:学生主導型テ`ィスカッション I | | 1 | | 科学英語:学生主導型テ`ィスカッション I | | 1 | |
| | 科学英語:学生主導型テ`ィスカッション II | | 1 | | 科学英語:学生主導型テ`ィスカッション II | | 1 | |
| | 科学英語海外研修プ`ログラム | | 2 | | 科学英語海外研修プ`ログラム | | 2 | |
| 修了 必要 単位 数 | 必修科目 28 単位 選択科目 2 単位 合計 30 単位 | | | 必修科目 30 単位 | | | | |

なお、糖鎖生化学特論、薬物代謝・毒性学特論、分子薬理学特論、薬物送達学特論、病態分子分析学特論、薬物動態学特論 II、薬物放出制御学特論、神経内分泌機能解析学特論、免疫微生物学特論 II、創薬探索学特論 II、生薬漢方薬学特論の講義概要は担当教員に確認のこと

コース

- 1) 医療薬学コース：医療薬学・臨床薬学領域における研究者・教育者を養成する
- 2) 臨床薬学コース：高い専門性を有する薬剤師、治験や臨床開発従事者を養成する

*臨床薬学コースを希望する者は薬剤師免許の取得が必要となる

修了要件

本課程を修了するためには、以下にあげた計30単位以上を修得しなければならない

医療薬学コース

1) 先端医療薬学特論（2単位）

医療薬学分野における最新の知見とその基礎となる考え方、実験手技について講義する
先端医療薬学特論（15回講義）の履修により2単位が与えられる

2) 基礎薬学特論（2単位）

以下の11科目より2科目を履修することにより2単位が与えられる

糖鎖生物学特論、薬物代謝・毒性学特論、分子薬理学特論、薬物送達学特論、病態分子分析学特論、薬物動態学特論 II、薬物放出制御学特論、神経内分泌機能解析学特論、免疫微生物学特論 II、創薬探索学特論 II、生薬漢方薬学特論

3) 薬学セミナー（4単位）

1～4年次を通して月例セミナー、大学院特別講義、その他研究科委員会の認めたセミナーや講演会などに少なくとも20回出席する。出席の認定は、所定のセミナーあるいは講義ごとに出席カードの提出および出席表への署名で行う。出席カードは各自が保管し、所定の時期に学生室に提出すること

4) 医療薬学演習（6単位）

以下の（1）～（2）により6単位が与えられる

- （1）1～4年次に開催される所属講座・研究室セミナーへの参加と発表（4単位）
- （2）学会発表（演者）（1回につき1単位）（2単位）

5) 医療薬学特別実験（12単位）

所属講座・研究室において実験・研究により12単位が与えられる

6) 医療薬学特別演習（4単位）

- （1）学術論文発表（受理証明も含む）（1回につき2単位）（2単位）
- （2）博士論文の作成、論文の口述発表および質疑応答、審査員との討論（2単位）

臨床薬学コース

1) 先端臨床薬学特論 1 (2 単位)

臨床薬学分野での最新の知見とその基礎となる考え方、実験手技について講義する先端臨床薬学特論 1 の履修により 2 単位が与えられる

2) 先端臨床薬学特論 2 (2 単位)

薬の治験・臨床開発に関する基礎知識および実際の手順についての講義および実習を行う先端臨床薬学特論 2 の履修により 2 単位が与えられる

3) 臨床薬学演習 (6 単位)

以下の (1) ~ (2) により 6 単位が与えられる

(1) 1 ~ 4 年次に開催される所属講座・研究室セミナーへの参加と発表 (4 単位)

(2) 学会発表 (演者) (1 回につき 1 単位) (2 単位)

4) 臨床薬学実習 (4 単位)

本学の指定する施設において教員、薬剤部薬剤師、医師、医療スタッフの協力のもとでの薬剤管理指導や臨床試験関連の研修を行う。あわせて、臨床症例を題材とした SGD 形式での症例検討を行う。これらの履修により 4 単位が与えられる

5) 臨床薬学特別実験 (1 2 単位)

所属講座・研究室において実験・研究により 1 2 単位が与えられる

6) 臨床薬学特別演習 (4 単位)

(1) 学術論文発表 (受理証明も含む) (1 回につき 2 単位) (2 単位)

(2) 博士論文の作成、口述発表および審査員との討論 (2 単位)